

秋の響き

宮坂静生



焼鳥の青き串引き鳩寿まで
俎板の満身創痍秋深む
阿羅漢がまばたき櫃の実が降るよ
甲斐駒ヶ岳や寒露の虹の棒立ちに
荒地瓜砂丘の起伏大乳房
公房展音叉が秋の響き待つ

神奈川近代文学館



おしやぶりの乳首赤子に秋の壁
苦瓜の弾け赤実の泣き腫らし
豺の祭見たし千鳥が淵の紺
霜降の梔いくたりの友へ鳴り通し癌消えよ
夏日からすとんと虫の穴に入る
銀漢が懸り柳田邦男書庫

信州大学中央図書館に文庫設置に際し

七十二候 霜降の初候